

地域のモノづくりを学ぶ

きたかみ・かねがさきテクノメッセ2015

きたかみ・かねがさきテクノメッセ2015は3日・4日、北上総合体育館で行われました。同イベントは2年ぶり10回目の開催。地域の企業がブースを設置したほか、製造業コマ大戦や岩手大学の高木浩一教授によるサイエンスショーが行われました。ショーでは高木教授が液体窒素を使った実験を披露。液体窒素につけた風船が縮むと驚きの声が上がりました。実験を見た東和奏さん(花巻・南城小5年)は「学校では見ない実験で面白かった」と話していました。

液体窒素と風船を使った実験を行う高木教授。参加者は興味深く見ていました



コンサートでは素敵な歌声に児童も大きな拍手と声援を送りました

卒業生の歌声で40周年を祝う

江釣子小学校創立40周年

江釣子小学校は今年創立40周年を迎え、記念事業として10月1日、市内在住の音楽ユニットアンダーパス!のコンサートを同校の体育館で開催しました。underpath!のボーカルMASAHIROさんは同校の卒業生。爽やかな歌声で母校の記念に花を添えました。同校は昭和50年に江釣子第一小学校と第二小学校の統合により開校。これまで約5,200人の卒業生を送り出しています。同事業では記念誌の発行や記念樹の植栽なども行われる予定です。

日本代表候補も力走

2015いわて北上マラソン大会開催

2015いわて北上マラソン大会は11日、北上陸上競技場を発着点として開催されました。大会には過去最多の3,088人がエントリー。小雨まじりの中、参加者は沿道の応援を受け市内を力強く駆け抜けました。

招待選手として日本代表経験のある川内優輝さん(埼玉県庁)が参加。川内選手がトップで競技場に戻ってくると観客から大きな拍手が起こりました。川内選手は「ドリンクを多く置けるなどアスリート思いの運営。沿道の応援が力になった」と話していました。

たくさんの観客に見守られ2時間13分21秒の好記録でゴールした川内選手



高橋市長、黒沢尻工業高校の福土校長らが除幕を行いました

地元高校生が国体のために

国体カウントダウンボード設置

国体カウントダウンボードは10日、北上陸上競技場座席取り付けイベント「国立のレガシーを北上へ」で除幕式が行われました。カウントダウンボードは黒沢尻工業高校の生徒たちが市の依頼で2カ月かけて2基製作。国道4号線沿いの北上総合運動公園の案内板と市役所本庁舎に設置され、LEDの電飾で国体までの日数を刻みます。除幕式に参加した同校3年の高橋冬哉さんと佐々木朋さんは「細かい作業が多く苦労したが、一生の思い出になる」と話していました。

紅葉とイベントを満喫 夏油高原紅葉まつり

夏油高原紅葉まつりは10日から25日までの土・日曜日と祝日、夏油高原スキー場で行われ、期間中はゴンドラ遊覧やさまざまなイベントを開催しています。12日はステージショーなどが行われ市内の園児や小学生などが鬼剣舞を披露。そばっちが登場しわんこダンスを踊ると、子どもたちもステージにあがり一緒にダンスで会場を盛り上げました。そばっちに会うのを楽しみにしていたという水野心寧さん(黒沢尻西小1年)は「上手に踊れました」と笑顔で話していました。



そばっちと一緒にダンスを踊り、会場を盛り上げた子どもたち



芋の子汁の販売には長い列ができていました

二子さといもの収穫を祝う 第14回二子の里・いものこまつり

第14回二子の里・いものこまつりは9月27日、二子小学校校庭などで開催されました。同まつりは二子さといもの収穫時期に合わせ毎年9月の最終日曜日に開催。まつりでは「二子さといも」の販売や北上川の遊覧、神楽などのステージ公演が行われました。芋の子汁の販売には長い列ができ、訪れた人たちはできたての味に舌鼓みを打っていました。芋の子汁を食べた菅原万奈さん(黒沢尻東小1年)は「芋の子が好き。おいしい」と笑顔で話していました。

親子でよーいどん！ ミニミニ運動会

ミニミニ運動会は15日、北上総合体育館で開催されました。同運動会は毎年秋に、市内4カ所の子育て支援センター利用者の交流を目的に開催。今年は98人の子とその保護者が参加しました。はいはい競走、かけっこ競走や玉入れなどのプログラムに子どもたちは笑顔で挑戦していました。1歳の菜々穂ちゃんと一緒に、初めて参加したという福田理恵さん(北鬼柳)は「たくさんのお子さんと一緒にいる機会が少ないので刺激になって楽しいです」と話していました。



保護者の助けを借り、障害物競走に挑戦する子どもたち



優勝した阿部さんと小原さんは祈りながらロボットの動きを見守っていました

中学生がプログラムを競う 第1回北上ロボットコンテスト

第1回北上ロボットコンテストは9月20日、おでんせプラザぐろーぶで開催されました。北上中、江崎子中の生徒ら30人が参加。学校ごとに2人一組になり、車輪のついたロボットを動かすプログラムを作成。制限時間内に壁に当たった回数などを得点とし、ゴールを目指してロボットを走らせました。優勝は北上中2年の阿部野乃花さんと小原真優さんペア。「一回目でゴールに届かなかったのがより点数を取れるプログラムに変更しました」と勝因を話していました。